



9月28日開催 東地申第3号

【その1】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

1. 東京車掌区・東京電車区が担当している横須賀・総武快速線等の業務を総武運輸区(仮称)に移管し、東京電車区を廃止する本施策の目的を明らかにすること。

(回答)安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的としている。

◆安全・安定輸送のレベルアップは具体的にどのように図るのか明らかにすること。

◆効率的な業務執行体制とは何か具体的に明らかにすること。

◆乗務線区を明らかにすること。

組合

◆運転士と車掌が一つの職場になることにより、業務の融合、コミュニケーション、CSや合同訓練を行うことができ、訓練装置や環境整備により安全・安定輸送のさらなるレベルアップができるものと考えている。

◆横須賀・総武快速線の乗務員基地を東京駅の近傍に設置することにより、効率的な業務執行体制が取れると考えている。ライン総体で見えていく。

◆横須賀線・総武快速線を乗務する職場となる。詳細については具体的に決まっていない。

会社

2. 業務移管後の総武運輸区(仮称)および、東海道線等の業務を担当する区所として存置する東京車掌区の安全・サービスのさらなるレベルアップをどのように図るのか明らかにすること。また本施策における「効率的な業務執行体制の実現」とはどのようなことを意味するのか具体的に明らかにすること。

(回答)総武運輸区(仮称)は、運転士業務と車掌業務を行う区所として新設し、東京車掌区は、東海道線等の業務を担当する区所とすることで、効率的な業務執行体制を構築し、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図っていく考えである。

◆業務移管後の総武運輸区(仮称)の安全・サービスのさらなるレベルアップはどのように図るのか明らかにすること。

◆東海道線等の業務を担当する区所として存置する東京車掌区についてはどのように考えているのか。

◆相互運用については行うのか。

組合

◆1項で回答した通りである。

◆横須賀線・総武快速線の業務を総武運輸区(仮称)に移管することにより、東海道線の乗務を担当する区所として特化していく。総武運輸区(仮称)が発足しても使命は変わらない。2線区を担当するより1線区を集中して乗務することにより、より安全・サービスのレベルアップが出来るものと考えている。

◆他区所でも行っていることから、同様に進めていく考えである。

会社

その2に続く



9月28日開催 東地申第3号

【その2】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

3. 田町運転区が担当している横須賀線行路について、行路移管の考え方を明らかにすること。

(回答) 効率的な業務執行体制の実現のために行路移管を含め検討していく考えである。

◆ 現在、考えていることはあるのか。

◆ 田町運転区の横須賀線を乗務する使命はあるのか。

◆ 異常時の対応能力の観点は何かあるのか。

◆ 2年前の秋の面談では、横須賀線か東海道線のどちらが希望かと聞かれたが、去年は聞かれていない。社員説明も変わっており、施策である以上、説明はするべきだ。

◆ 行路移管するならば、人事異動は発生するのか。

◆ 技量維持の観点からも、これ以上横須賀線の乗務行路については減らさないこと。

組合

◆ 検討している最中ではあるが、田町運転区は臨時列車も多く担当しており、技量維持を含め引き続き検討が必要と考えている。

◆ 現在2徹、2日勤を行路設定しているが、大崎駅～蛇窪(信)～目黒川(信)、鶴見駅近辺の臨時がメインと考えており、技量維持の観点から設定している。

◆ 品川の入出区を担当している。また、多くの区所が担当できることは良いとは考えるが、それが必須ということではない。

◆ 2018年12月の「今後の乗務員基地再編」では横須賀線関係は総武運輸区(仮称)、大船運輸区に集約すると書いてあるが、イメージであり、輸送体系の変化がある線区もあることから検討し直している。

◆ 施策として乗務員基地を集約することについて変わりはないが検討案の一つではある。

◆ 輸送体系の変化により変化はあると考えている。

会社

4. 横須賀・総武快速線の異常時における輸送の安定性の確保について、考え方を明らかにすること。

(回答) 輸送障害発生時に、運転可能区間における折返し運転等を実施し、早期ダイヤ平復に努めていく。なお、輸送障害の発生状況により柔軟な対応を行っていく考えである。

◆ 運転可能区間の折返し運転についての考え方は、現行と変わりはないのか。

◆ 東京車掌区における別線運転についての考え方は変更はあるのか。

◆ どのように技量維持をしていくのか。

◆ 総武運輸区(仮称)設立により、大船駅、久里浜駅の入出区は担当するのか。

組合

◆ 現在と変更はない。

◆ 大きく変わるものではないが、1線区に集中した方が乗務員操配は容易になると考えている。

◆ 臨時列車の乗務や特急「湘南」を乗務していることから、技量維持はできるものと考えている。

◆ 大船駅や久里浜駅の入出区については、総武運輸区(仮称)の設立とは別に、以前検討したことはある。

会社

その3に続く



9月28日開催 東地申第3号

【その3】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

5. 丸の内車掌区のサピアタワー移転に伴う運用改正について、以下の点を明らかにすること。

(1) 2022年11月12日の運用改正における行路を明らかにすること。また、それぞれの担務の標準数を示すこと。

(2) 「折り返し時間」の変更に伴う徒歩時分の考え方を明らかにすること。また、丸の内車掌区乗務員の武蔵野線・京葉線担当の際の、それぞれの指定通路、徒歩時分を明らかにすること。さらに、東京駅構内のシャッターが「閉」の場合の指定通路、徒歩時分を明らかにすること。

(回答) 現業機関での柔軟な働き方の推進の趣旨を踏まえ、現業機関における業務量については、年間を通じた平均的な業務量の基準として、「変形等」「交代」「乗務員」の1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を「管理・一般」に分けて示している。また、必要な社員周知は行っていく。

◆ 標準数について明らかにすること。

◆ 行路について明らかにすること。

## 乗務担当列車の 変更はないことを確認！

- ◆ 徒歩時分の考え方に変更はあるのか。
- ◆ 折り返し時間の増減を具体的に示すこと。
- ◆ 指定通路を明らかにすること。
- ◆ 八重洲側を通るルートにしない理由はあるのか。
- ◆ 十分な折り返し時間は確保しているのか。
- ◆ エレベータの待ち時間等も考慮にしているのか。
- ◆ サピアタワー全館閉館時の取り扱いについて検討していることはあるのか。
- ◆ サピアタワーの全館閉館の日は把握しているのか。

組合

◆ 年間を通じた平均的な業務量で示していることから、標準数では示さない。

**年間を通じた平均的な業務量では  
必要な要員が分からないことから、  
認めることはできない！**

◆ 折返し時間の変更ににより出退勤時刻については変更になるが、乗務担当列車については変更はない。

- ◆ 変更はない。
- ◆ 最終調整中であり、決定次第周知をしていく。
- ◆ 東京電車区が使用しているルートとなる。10月の訓練では実際に歩くことを検討している。
- ◆ 八重洲側だと直線距離では近いが、駅外に出ることや、お客さまの通行量が多いことから丸の内側のルートとした。
- ◆ 必要な時間は確保している考えである。
- ◆ エレベータの待ち時間を含め必要な折り返し時間は確保している。
- ◆ 年に1回、電気設備の法令点検がある。点検日によって当直をどこに移転するかは、その都度検討していく。
- ◆ JRのビルではないこと、他のテナントもあるので、わかり次第周知は行う考えである。

会社

その4に続く



9月28日開催 東地申第3号

【その4】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

6. 丸の内車掌区のサピアタワーへの移転スケジュールを明らかにすること。また、社員個人の荷物の搬出方法を明らかにすると共に、社員自身が搬出する場合は超勤対応とすること。

(回答)2022年11月12日にサピアタワーへ移転する。なお、荷物の搬出方法等については、決まり次第周知していく。

◆荷物の搬出方法について明らかにすること。

◆訓練日によって搬出用の段ボール渡すタイミングに違いが生じるのは何故か。

◆施策に伴う移転であるから超勤で対応すべきである。

◆移転日の11月12日までサピアタワーに入れないと言われているが理由は何か。

組合

◆丸の内車掌区の説明会で説明したが、荷物の搬出については物流業者が搬出を行う。

◆事務の都合等もあるが、今後現場と調整を行っていく考えである。

◆超勤対応とするか否かは、決定次第社員周知を行う考えである。

◆入館のシステムがしっかりとあるので個人で入ることは難しい。10月の訓練でまとまって行くように調整している。

会社

7. サピアタワー移転後の丸の内車掌区について以下の点を明らかにすること。

(1)職場の間内レイアウトおよび設備について明らかにすること。また、そのレイアウト・設備の使用方法は現場社員の意見を反映して進めること。

(2)サピアタワー内の寝室数を明らかにすると共に、東京電車区と丸の内車掌区の寝室の内訳を明らかにすること。また、下記の社員の寝室の場所および、点呼執行箇所ならびにその方法を明らかにすること。

①武蔵野線ならびに京葉線を担当する東京泊の丸の内車掌区乗務員。

②丸の内車掌区の指導担当・当務主務等、業務の必要に応じて宿泊する社員。

③現行、丸の内車掌区の寝室を使用している東京泊の他区乗務員。

(3)現行の丸の内車掌区(東京駅総武地下2階)の設備の活用方法を明らかにすること。

(4)サピアタワー移転にあたっては、防災訓練を実施し、意識向上を図ること。また、大地震等の災害発生時に備え、非常用品の備蓄を行うと共に、避難ルート・避難場所等の見える化を図り、定例的に訓練を実施すること。

(回答)必要な設備の整備・訓練・社員周知は実施していく考えである。なお、現丸の内車掌区エリアを間内改修し、総武運輸区(仮称)を設置する。

◆(1)職場のレイアウトを示すこと。

◆移転まで2か月を切っているが、レイアウトの変更はできるのか。

組合

◆サピアタワーのレイアウトは、現在検討中であることから示せない。様々な意見を聞いたうえで、レイアウトについては反映させていく考えである。

◆テーブルの移動などは移転後にもできる。移転日には間に合うよう整備は行う。

会社

その5に続く



9月28日開催 東地申第3号

【その5】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

## ～7項の続き～

◆レイアウトを示す考えはあるのか。

◆食事スペースなどは十分な広さを確保しているのか。

◆東京電車区では丸の内車掌区が移転することしか周知されていない。丸の内車掌区は訓練で説明されているが、変更になることなどは周知すること。

◆(2)サピアタワー内の寝室数を明らかにすること。

◆(2)①東京泊の丸の内車掌区の乗務員の宿泊箇所、点呼執行箇所はどこなのか。

◆(2)②指導担当・当務主務や居流しの乗務員の宿泊箇所はどこなのか。

◆(2)③丸の内車掌区に宿泊する他区の乗務員の寝室はどこになるのか。

◆東京電車区が現在、丸の内車掌区の寝室を使用しているが変更はあるのか。

◆(3)現行の丸の内車掌区の設備について使用可能なものは何か。

◆大地震等の災害発生時に対して考え方は何かあるのか。

◆大規模災害発生の避難場所について、丸の内車掌区では現行、皇居が指定されているが、サピアタワー移転後はどこが避難場所になるのか。

組合

◆どのように示すのか検討している。現場を見るのか、図面を見せるのかについても検討中である。

◆必要なスペースについては確保していく考えである。

◆丸の内車掌区にはサピアタワーの概要、通路などは説明をしている。レイアウトの変更については決まり次第示していきたい。

◆東京電車区、丸の内車掌区の当直が使用する寝室については確保している。

◆寝室は旧東京電車区を使用する。点呼についてはタブレットによるFaceTimeで行う。

◆N-CTC、東京車掌区の寝室で調整をしているが、現丸の内車掌区の寝室を使用することもあり得る。

◆現行、丸の内車掌区に宿泊する他区乗務員はいないが、異常時等宿泊する場合には旧東京電車区を使用すると関係支社には伝えている。

◆現行通り変更はない。

◆一部寝室、トイレ、浴室、洗面所は引き続き使用可能である。

◆社員の安全については対策をしている。また、サピアタワーの防災訓練や、職場での消防訓練などを検討している。

◆避難場所については資料を持ち合わせていないので答えられないが、社員が不安の無いように周知をしていく考えである。

会社

その6に続く



9月28日開催 東地申第3号

【その6】

「横須賀・総武快速線の乗務員基地再編について」に関する申し入れ(その1)

団体交渉を行う！

8. 丸の内車掌区のサピアタワー移転に伴い、現在の東京電車区の執務エリアならびに設備について変更になるもの、新設する設備があるのか明らかにすること。また、東京電車区と共用する設備等について明らかにすること。

(回答)必要な設備の整備は実施していく考えである。

◆ 必要な設備の整備とは何か具体的に明らかにすること。

◆ 会議室には限りがあることから、訓練等は今後どのように行っていくのか。

◆ 洗濯機・乾燥機は設置するのか。また、現行の丸の内車掌区の洗濯機・乾燥機は使用できるのか。

◆ 明けて、現丸の内車掌区の浴室は使用可能なのか。

組合

◆ 現段階レイアウトについては、確定していないため示すことができない。今後、決まり次第社員周知を行っていく考えである。

◆ サピアタワーに会議室はあり、シミュレーターは京葉B3会議室に設置する。可能な限り東京電車区と丸の内車掌区とで調整を行い、訓練日程など重ならないようにしていく考えである。

◆ 水回りの関係からサピアタワーに洗濯機・乾燥機は設置できない。現丸の内車掌区の洗濯機・乾燥機については工事の都合上難しいと考えている。

◆ 昼間帯に工事を行うことから答えられない。決まり次第周知を行う。

会社

9. 丸の内車掌区ならびに、横須賀・総武快速線を担当する全乗務員職場に対し、本施策実施に向けた社員説明会を行うこと。

(回答)必要な社員周知は実施していく考えである。

◆ 引き続き、分かっていることについては前広に示すこと。

◆ 必要な社員周知については、引き続き行っていく考えである。何か不明点等あれば、管理者や区長とコミュニケーションをとって頂きたい。

組合

会社

全項目交渉終了！

11月12日にサピアタワーへ移転にも関わらず、

「検討中」という回答が多く、現場で働く組合員・社員の不安は増すばかりだ！

輸送サービス労組は「働きがい」「生きがい」を実感できる

総武運輸区（仮称）の発足に向け、議論をつくりだします！